

串間温泉いこいの里

〒888-0008 串間市大字本城987
TEL 0987-75-2000 FAX 0987-75-2280
営業時間：午前10時～午後10時
定休日：毎月第3水曜日

伊勢海老まつりのおしらせ

9月の伊勢海老解禁に合わせて、「伊勢海老まつり」を開催します。

◎期間：9月2日～11月30日

伊勢海老会席プラン 7,500円【税込・要予約】
～プリプリの伊勢海老をたっぷり使ったぜいたくな伊勢海老づくしの会席料理です～

・先付・椀・お造り・焼物・替り皿・サラダ・揚物・みそ汁・ご飯・香の物・果物

伊勢海老定食プラン 3,500円(税込)

～伊勢海老の美味しさを満喫！～

・先付・お造り・みそ汁・ご飯・香の物・果物

※おみやげ・贈答用にお持ち帰りや発送も承ります。



写真：伊勢海老会席プラン

温泉の日

今月は9月19日(第3日曜日)

- ・空くじなしの抽選会
- ・レストランお一人様100円引

9月の休館日 9月15日(水)

イベントのお知らせ

今月の表紙

岩本俊秀・留美さん ご夫妻
IWAMOTO toshihide, rumi



福島地区・寺里にお住まいの岩本俊秀さん(29歳)・留美さん(31歳)ご夫妻。俊秀さんはサッカー、野球、ゴルフとスポーツが大好き。「子どもが大きくなったら一緒にサッカーをしたい」という夢があります。一方の留美さんは、野菜や花を育てるガーデニングが趣味。野菜が苦手な俊秀さんに「少しでも野菜を食べてほしい」と、留美さんが愛情込めて育てた野菜が食卓に並ぶこともしばしばです。将来の目標を尋ねると、「健康で幸せな家族です」と、笑顔で答えるお二人でした。

FROM EDITOR'S

小 用あり家族で上京した。久しぶりの都会に、無理して時間を作り街を練り歩く。程なく人とコンクリートジャンルの熱気にあたり、休憩を繰り返して、早々に退散。帰路妻との語らいに、自分の年と串間の心地よさを再認識した(ト)

半 袖短パン姿で山登り。厳しい日差しで腕は真っ赤に日焼け。下山後、靴下を脱いだはずの足になぜか白い靴下が出現。足も日焼けしたらしく靴下の跡が美しいまでに白くクッキリ残っていた。はすかしいので半分短パンは自粛で(カ)

9 月に入り、いよいよ串間の夏も後半戦。しかし、すでに夏バテ気味です。そのためか、かなり大きめの口内炎ができてしまいました。食事のたびに震えるほどの痛みを味わっています。調子を整えて夏を乗り切りたいと思います(ナ)

P R E S E N T S



お便りをくださった方から抽選で、「釜めし」と「豆乳鍋」セットのお食事券を25名様にプレゼント。
応募締切は9月30日(木)当日消印有効です。

串間市役所総合政策課
情報政策係 行

(No.870/2010.9)

お手数ですが50円切手をお貼りください

8 8 8 - 8 5 5 5

POST CARD

◎ご氏名
フリガナ

年齢 / 歳 性別 / 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル

※ 記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所 □□□□□□□□

電話 () -

◎抽選で25名様にプレゼント致します。
串間温泉いこいの里 お食事券

わ たしは、Iターン2年目です。市木の第一印象は、自然は素晴らしく、移住者を温かく迎えてくださる方が多く見られます。南国宮崎の人柄は、ありがたいです。

わたしは、市木の大自然の中で手作り擬似餌を製作しています。ルアーテストは最高の環境。工房の目の前に市木川があり、9月ごろから市木川で、ルアーを使って、たくさん釣れます。海も車で数分で、石波海岸や幸島や鳥島や築島などのたくさん釣るポイントがあり、一年中ルアーフィッシングが楽しめる環境なので、第二の人生である擬似餌製作に専念する決意で移住を決断しました。

わたしなりに、市木を紹介しました。山あり川あり海あり自然が絵画のように、ある時は水墨画またある時は油絵、またある時は、水彩画のように365日いろいろな芸術を見せていただきたくもありません。

市木は、若者さんや中高年さんの移住者がたくさんいます。その中でも自分のやりたい夢、こ・だ・わ・りを持ち日々努力されています。

9月は祭り。火祭「市木柱松」です。去年の火祭の写真をホームページに掲載しています。興味のある方は「飛工房」で検索してください。

県道48号線沿いの石波から、古都方面で市木の先輩方が発見した「梵字」が見られますし、南浦文士之和尚様の歴史などいろいろ発見できると思います。

わたしの住んでいる市木の古都地区は、約70年以上前は旅館などがあり活気があったそうです。今もその当時の面影が少しだけ残っています。今は、若者の移住者が増えています。不景気で仕事がありません。農家や漁師の方の手伝いをして生活しています。

とびかのぶお(54歳) / 1956年7月生まれ。福岡のデザイン学科卒業。写真館の企画課入社。5年後トップアンテナセンタースタジオ勤務。3年後料理を専門の先生に弟子入り。5年後独立。PHOTO TOBIKA設立。16年前から手作り擬似餌製作開始。写真は現在休業中。今は擬似餌製作続行中。擬似餌製作所「飛工房」現在に至る。

風を感じる市木で!!

随想 ◎飛賀 信夫

ます。自治会長さんが仕事を紹介し頑張っている人たちもいます。休みは、サーフィンや釣りを満喫して、不便を楽しんでいるみたいです。みなさん元気で表情も豊かでわたしも元気をもらっています。感謝!!

市木には、釣り倶楽部があり、懇親会にちよくちよくお誘いがあるので、情報を集めています。非常に助かり、擬似餌の製作に生かしています。倶楽部に消防団団長が入っていて、消防団に入団して欲しいと説得され入団することになりました。7月3日朝、市木川がはんらん恐れがある大至急来てくれとの電話が。初めての経験で緊張していましたが、消防車に乗り見回ったところ、途中小川がはんらん寸前。雨も大降り、雷も鳴るなか小川がはんらんし道が浸水し始めたので、わたしともう一人で道を封鎖しろとの命令。雨は猛烈に降り、見る見るうちに道路が川に。住民の方から家が浸水しそうですねと土のうが欲しいとの連絡が。大至急連絡し、ほかの団員が土のうを積み上げくいと止めました。市木川はまだ危ない状況でした。10時間以上待機状態。夜7時過ぎに解除。緊張の一日で疲れましたが、地区に少しでも貢献できたのでは?

今回の体験で地球の環境問題をより考えます。便利より少し不便がいいのでは? わたしの仕事は、遊びの喜びや夢をお手伝いすることです。手は抜けません。常に真剣勝負の作品を心のスローライフのおとも!! 工房に市木の風が!!



▲自宅前にて撮影。飛び立つ前の一瞬です。



Profile

とびかのぶお(54歳) / 1956年7月生まれ。福岡のデザイン学科卒業。写真館の企画課入社。5年後トップアンテナセンタースタジオ勤務。3年後料理を専門の先生に弟子入り。5年後独立。PHOTO TOBIKA設立。16年前から手作り擬似餌製作開始。写真は現在休業中。今は擬似餌製作続行中。擬似餌製作所「飛工房」現在に至る。